

**Barbara Brennan International, Inc.**  
**BARBARA BRENNAN® SCHOOL OF HEALING JAPAN (BBSHJ)**  
500 N.E. Spanish River Boulevard, Suite 208, Boca Raton, FL 33431-4559 USA  
Tel: +1.561.620.8767 Fax: +1.561.620.9028  
E-mail: [bbshj@barbarabrennan.com](mailto:bbshj@barbarabrennan.com)

アドバンス・スタディーYear 1の学生の皆様へ

アドバンス・スタディー Year 1のブレナン・インテグレーション・ワーク・プログラムによろこそ！BBSHJで本プログラムが開講され、皆様とご一緒できることを大変嬉しく思います。

BIWプログラムでは、これまでに皆さんが習得されたスキルをさらに深めるために必要な豊かな環境を提供致します。学びと成長、そして癒しをサポートするグループを共に創り上げていきます。

ここで皆さんにプログラムの概要を案内させていただきます。このプログラムは実習にもっとも重点を置き、プログラムの内容に圧倒されることなく、確実にスキルを深めるためにプロセス・セッションを行いながら進めていきます。そして共に「待つ力」を養い、自然に生じる本来プロセスがもつあるがままの状態を「信じる力」を学んでいきます。BIWの2年間のプログラムは個人、そしてグループの自己変容のセッションに必要とされる「実践」と「統合」「伝達」のスキルに焦点を当てていきます。またパーソナル・プロセスやワークの成長段階をしっかりと認識し、向き合う上でサポートしていきます。クラス期間は一対一、3人一組、グループでワークを行っていきます。講義や学生によるプレゼンテーション、実習、メディテーションなどもクラスでは行っていきます。授業には通訳が付き、リラックスした双方向での授業が行われる場を提供していきます。

DLMはAS-BIWのカリキュラムの一つとなります。クラスとクラスの間、課題図書を読んだり、実習ヒーリングとしてクライアントとパーソナル・プロセス・セッションを行ったり、またこれまでに学んだことをレポートにまとめて頂きます。DLMはクラスで起こった事や体験した事と関連しているため、必要不可欠と言えます。DLMの提出物は宿題という位置づけではなく、クラスのワークの一環として捉えています。DLMは一見難しそうに見えますが、課題を行っていくとDLMは振り返りを促し、自己への理解やクラスで学んだ内容、そしてクラス期間のグループでの体験を深める非常に効果的な手段であることがお分かりになることと思います。

最初の3つのDLMは2008年9月4日までに私の自宅まで郵送にて提出して頂きます。ほとんどの課題は読書課題となります。

1年目では、精神的疾患や人格障害、気分障害など必要となる基礎的な知識を習得するために一般的な疾患について探求していきます。そして不安症、自己陶酔症、境界型人格障害、PTSD、鬱といった精神疾患から一つ選択し、グループでの発表を行い、レポートを提出して頂きます。発表はクラス2から5の間で行って頂きます。クラス1ではチームを組み、トピックを選び、今後のレポートと発表について話合っていきます。

またPS1から4と同様に年に18回のパーソナル・プロセス・セッションが必要になります。2008年7月15日以降からクラス5までに受けたセッションが単位として認められます。セッションはASスーパーバイザーの承認を受けているセラピストから受ける必要があります。2008年度のASスーパーバイザーのリストは本パッケージに同封されているBIPディレクトリー内の「BIP Class Year Availability」を参照して下さい。

9月22日に皆さんにお目にかかれるのを楽しみにしています。独自のスタイルとスキルを深めながら、仲間と共にコミュニティーの一員として絆を深めていきましょう。

ASBIWディーン  
ジョイス・クルム



+1-502-254-3910  
16512 Briston Avon Lane  
Louisville, KY 40245  
joycecrum@bellsouth.net